



佐伯利彦 議員
西条自民クラブ



温室効果ガス排出量削減に向けた
積極的な取組を！

問

西条市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を自分事として捉えてもらうため、市民へどのように周知していくのか。また、計画に沿って目標を達成するため、今後、どのように取り組んでいくのか。

答

住宅への燃料電池や蓄電池の購入などの各種助成制度を広報やSNSなどで情報発信しているが、今後、西条市SDGs推進協議会など関係機関との連携を強化し、市民の行動変容やライフスタイルの転換などにつながる普及啓発について検討していきたい。

また、関係機関などと連携し、地域のポテンシャルを生かした新たな取組の創出や新技術の導入検討を行い、2030年度のCO₂削減目標の達成、更に、ゼロカーボンシティ西条の実現に向けてチャレンジしていきたい。



井上浩二 議員
西条自民クラブ



市長が考える結論の時期は？
学校規模等適正化

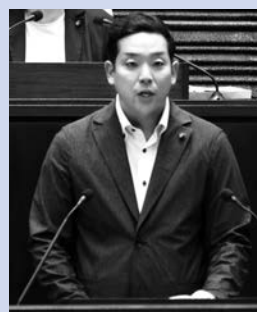
問

市長は、学校規模等適正化について、本年3月定例会で、全ては子どものためにとという理念を念頭に置き、結論を急ぐことなく、多くの皆様の声を聴きながら、丁寧に検討を進めていきたいと答弁されたが、結論を出す時期をいつ頃と考えているのか。

答

結論を急ぎ過ぎれば地域の合意形成がふじゅうぶんなまま計画が進み、将来にわたり大きな課題やしこりを残すおそれがあるため、拙速を避け、責任を持って丁寧に地域の皆様の声をしっかりと伺い、理解と納得を得ながら進めることが重要である。

地域の実情や課題は、地区ごとに異なり、地域での結果が異なるかもしれないが、状況に応じた対応を進める中で、少なくとも市長就任期間中には一定の地域で相応の方向性を示すことができるよう努めたい。



佐々木 充 議員
西条自民クラブ



市長の独裁的な市政運営は
本市の未来のためになるのか？

問

椿温泉の改修及び民間施設敷地内のホール建設における内閣府への交付申請については、民主的なプロセスを踏まず、拙速かつ一方的に申請が進められており、市の現状を顧みない独断専行であり、独裁的な市政運営と批判されてもしかたがないものである。市長は今回の方法がほんとうに本市の未来のためになると考えているのか。

答

通常であれば、議会や市民の皆様へ説明し、プランニングを行い、その後、事業計画を立てるべきであるが、両事業において、多額の競争的資金を獲得し、市民の皆様の税金を可及的にできるだけ少なく実施するには、今回のような方法しかなかったと考えている。

今後は、じゅうぶん注意し、今回のようなことがないよう努める。